

平成 30 年度

鹿児島県総合教育センター

長 期 研 修
募 集 要 項

一
如
教
学

教えることは 学ぶことである
学び続ける教職員に



長期研修ってどんな研修？

県総合教育センターにおいて1年間を通して研究主題に取り組むとともに、教育全般について様々な研修等を受講し、教員としての資質を高め、鹿児島県の教育施策を遂行する実践力を身に付け、学校現場において即戦力となる教員を目指します。

～長期研修者の声から～

環境・設備

- 緑に囲まれた環境で四季を感じながら研究に取り組むことで、感性を磨き、豊かで創造的な発想力を育むことができます。
- 空調や充実したICT機器など快適に研究を進める環境が整っています。



短期研修・研究公開

- 教育センターで実施される約40講座の短期研修に自由に参加できます。
- 研究校や提携校の研究公開に何度でも参加できます。



素敵な出会い

- 教育センターの研究主事をはじめ、教職大学院生や校種の異なる研修者との交流を通して、自分の研究だけではなく幅広い視点や考え方を身に付けることができます。新たな世界の広がりを実感できます。
- 多くの刺激的で多様な出会いがあり、学校では経験できない様々な学びに満ちあふれています。毎日がドキドキワクワクです！

English Hour

毎週1回のALTとの交流を通して楽しく英会話スキルを身に付けられます。



基礎研修

今日的教育課題等についての講義やワークショップ、ディスカッション等を通して授業改善や研究の深化に資することができます。また、自らの生き方や教育者としての在り方について見つめ直すことができます。



教育に関する情報

閲覧室にて専門書や月刊誌、全国の研究誌を自由に閲覧でき、教育に関する最新の情報を得ることができます。また最新のタブレット端末や一人一台貸与されるパソコン等を利用して世界中の情報に随時アクセスできます。



研究支援

- 各教科等のプロフェッショナルにいつでも質問や相談をすることができます。
- 担当の研究主事から研究に関する専門的知識・技能についてマンツーマンで指導助言を受けることができます。



長期研修の様子は
ブログにて公開中→



1 募集教科等

これまでの教科等に加えて、本県教育振興基本計画に掲げる施策「確かな学力の定着」を踏まえ、学校、学年、教科等、組織として学力向上に取り組む先生方を新たに募集します。

全校種	○ 組織としての学力向上 <i>New</i>
小学校	○ 国語，社会，算数，理科，生活，音楽，図画工作，家庭，体育，外国語 <i>New</i> ， 道徳，外国語活動，総合的な学習の時間，特別活動，プログラミング教育 <i>New</i> ○ 特別支援教育，キャリア教育，郷土教育，情報教育，環境教育，国際理解教育， 生徒指導，教育相談，人権教育，食育，健康教育，へき地・複式教育
中学校	○ 国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術・家庭，外国語，道徳， 総合的な学習の時間，特別活動 ○ 特別支援教育，キャリア教育，郷土教育，情報教育，環境教育，国際理解教育， 生徒指導，教育相談，人権教育，食育，健康教育，へき地・複式教育
高等学校	○ 国語，地理歴史，公民，数学，理科，保健体育，芸術（音楽，美術），外国語， 家庭，工業，商業，情報，総合的な学習の時間，特別活動 ○ 特別支援教育，キャリア教育，郷土教育，情報教育，環境教育，国際理解教育， 道徳教育，生徒指導，教育相談，人権教育，食育，健康教育
特別支援学校	○ 視覚障害，聴覚障害，知的障害，肢体不自由，病弱・身体虚弱，言語障害，自閉 症，情緒障害，発達障害，重度・重複障害等 ○ 教科別の指導，各教科等を合わせた指導，道徳，外国語活動，総合的な学習の時 間，特別活動，自立活動，訪問教育，交流及び共同学習，キャリア教育，郷土教 育，情報教育，環境教育，国際理解教育，生徒指導，教育相談，人権教育，食育， 健康教育

2 応募資格（平成 30 年 4 月 1 日現在）

(1) 小学校，中学校，義務教育学校及び特別支援学校の応募資格

教職経験 7 年（臨時的任用教員期間や他県の経験も含める）以上で，ステップアップ研修（5 年経験者研修）を修了し，かつ，パワーアップ研修（中堅教諭等資質向上研修）に該当しない小学校，中学校，義務教育学校及び特別支援学校の教員

(2) 高等学校の応募資格

教職経験 4 年（臨時的任用教員期間や他県の経験も含める）以上で，フレッシュ研修（初任校研修），ステップアップ研修（5 年経験者研修）及びパワーアップ研修（中堅教諭等資質向上研修）に該当しない高等学校の教員

3 募集人数（予定）

合計 11 人（小学校 5 人，中学校 3 人，高等学校 2 人，特別支援学校 1 人）

4 研修期間

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで（1 年間）

5 応募手続

希望者は、「平成 30 年度 鹿児島県総合教育センター長期研修申込書」（様式 1）に所定の事項を記入の上，所属学校長を通じて提出してください。

 鹿児島県総合教育センター

〒891-1393 鹿児島市宮之浦町8 6 2
電話 099-294-2313 (教科教育研修課直通)
FAX 099-294-2314 (教科教育研修課直通)
E-mail kyouka@edu.pref.kagoshima.jp
URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp>

(様式1) 「平成30年度 鹿児島県総合教育センター長期研修申込書」記入上の注意

1 「生年月日・年齢」, 「教職経験年数(現任校年数)」

昭和・平成のいずれかを○で囲む。平成30年4月1日現在で記入する。

2 「長期研修の申込歴」

有・無のいずれかを○で囲む。「有」を○で囲んだ場合は、()に申し込んだ年度を記入する。

3 「希望する教科等」

募集要項の1に従い、記入する。

4 「研究・研修歴」

論文等の研究主題及び研修等(大会発表, 授業提供, 大会役員等も含む)について、古い順に記入する。

なお、研修についてはその研修期間も書くこと。

[例]

- ・ 平成〇〇年度〇〇地区教育論文特選(入選又は応募)
研究主題「〇〇地区の遺跡の教材化」
- ・ 国立特別支援教育総合研究所 短期研修「〇〇教育コース」
(平成〇年〇月〇日～〇月〇日)
- ・ 平成〇〇年度県〇〇研究大会研究発表「〇〇について」

5 「主な校務分掌」

過去3年間の主な校務分掌を記入する。

6 「学校の教育課題への取組」

申込者本人がこれまでに学校の教育課題解決に向けて取り組んだことについて事例を挙げ、具体的に記述する。

7 「長期研修における研究内容等」

当センターで研究しようとする内容について、できるだけ詳しく記述する。

なお、研究の内容については、学校における教育実践上の課題、教育の今日的動向・要請等を踏まえ、本県教育の充実・発展に寄与できるものとする。

8 その他

様式1「その1」はA4判 1枚

様式1「その2」はA4判 2枚以内 とする。